

# 富士宮地区労働者の生活向上 と社会貢献活動の充実を



あいさつする小林会長

富士宮地区労働者福祉協議会の2012年度総会が6日、労金富士宮支店で開かれ、活動方針に労働者の生活向上と社会貢献活動の充実を掲げた。役員改選では小林純一会長が再任された。

小林会長は前年度活動実績に触れ、「東北被災地支援、富士ハーネス支援、エコキャップ運動など、さまざまな形で社会貢献活動に取り組んできた。こうした活動をホームページに掲載し、広くその内容を知らせ、支援を呼びかけている。富士宮地区労働者は県下で最も先進的な活動をしている」と誇りをもって、さらなる前進をアピールした。

来賓の県労働協会の吉岡秀規理事長、富士宮市の若沢英治副市長、富士宮地区勤労者共済

会の河原崎信幸会長も、「社会情勢が悪化している。活動の原点に立ち返って地域・社会のために貢献してほしい」となどと激励した。

本年度活動方針には、▽富士宮市に対する勤労者福祉の充実に関する要望活動▽富士宮地区勤労者共済会への運営への参画・会員拡大▽暴力団追放運動への積極的参加▽富士ハーネス支援・エコキャップ活動▽介護セミナーの実施▽会員ハスラー・ボウリング大会の開催などを掲げた。